

災害訓練支援サービスのご案内



現場のガードマン（警備員）の知見を活かしたBCP（事業継続計画）



防災講習会



防災マニュアル策定支援



使えるBCP対策マニュアル



※コーユーレンティア(株)は【ALSOK】
総合警備保障(株)の正規取扱店です。

ALSOK BCPソリューション

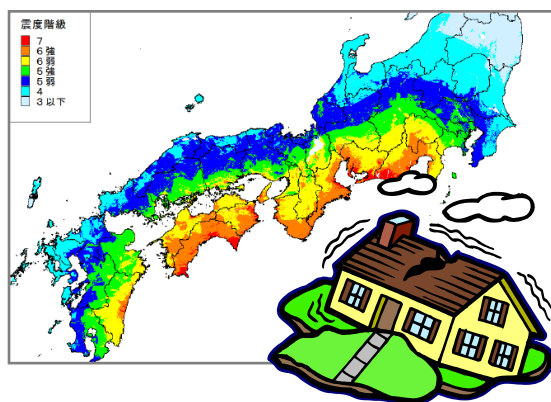
もう一度災害対策を見直してみませんか？

災害対策の必要性

大きな地震や、突然の豪雨、竜巻など、自然の脅威は尽きることがありません。

「南海トラフ」による巨大地震も、政府の被害想定が大幅に拡大されています。

災害を完全に防ぐことはできませんが、被害を少なく抑えるためにも、企業・個人が各自で災害対策を行う必要があります。



ALSOK BCP ソリューション

災害対策メニュー

	MENU	実施内容（例）
■ マニュアル		
1	BCPマニュアル	リスクアセスメントを実施し、事業の順位付け、対策方針等を決定し、リスク発生時の対応をマニュアル化します。
2	防災マニュアル (初動対応マニュアル)	お客様の地震等が発生した際の初動対応、平常時からの準備等をマニュアル化します。
■ セミナー		
3	防災講習会	防災意識向上のため、お客様の業種・地域等に合わせた内容の防災講習を実施します。 BCP策定へ向けた土壌作りをお手伝いします。
■ 防災訓練		
4	防災訓練実施支援	お客様の状況に合わせて避難訓練のシナリオ作成、訓練実施の支援（避難訓練、災害図上訓練など）等を実施します。

■ ご提供サービスの例

防災講習会

防災意識向上のため、お客様の業種・地域等に合わせた内容の防災講習を実施します。従業員の皆様の防災意識向上、マニュアルの周知などに役立ちます。

地震の基礎知識や、周辺地域の特性・被害予測、地震の際のとりべき行動などを講習で学んでいただきます。

職員の皆様に防災意識を持っていただくことで、震災への対策の必要性、防災マニュアルの作成など、震災対策を実施、浸透させる雰囲気作りを行います。

【講習内容例】

- (1) 周辺地域で想定されている地震
- (2) 地域の被害想定、避難場所
- (3) 地震が起きた際の行動
- (4) 事務所内の安全対策
- (5) 帰宅困難者
- (6) 備蓄品 等



防災講習会 e-learning 方式

防災講習会を実施したいけれども、こんな問題が...

- 多拠点で一箇所に従業員を集めることが難しい
- 就業時間がバラバラで1回の講習会では従業員が集まらない
- 繰り返し学習したい
- 各自のPCで独学させたい
- 感染症の蔓延で従業員を一箇所に集めることが難しい



1 データ納品方式

防災講習会を動画データ(CD等)で納品します。

講習のライドデータに音声を付加し、PCで再生できる動画形式(mpeg4)でCD等の媒体で納入します。データで納品されるため、社内掲示板等での共有が容易に可能です。

2 オンライン方式

ALSOKの講師がオンライン(Microsoft Teams等)で講義を行います。

講習のライドデータに音声を付加し、PCで再生できる動画形式(mpeg4)でCD等の媒体で納入します。データで納品されるため、社内掲示板等での共有が容易に可能です。

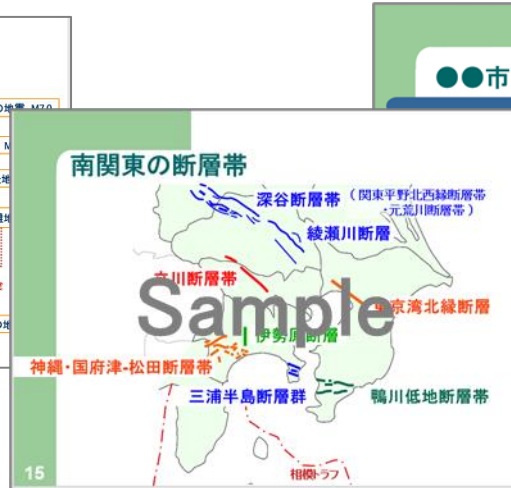
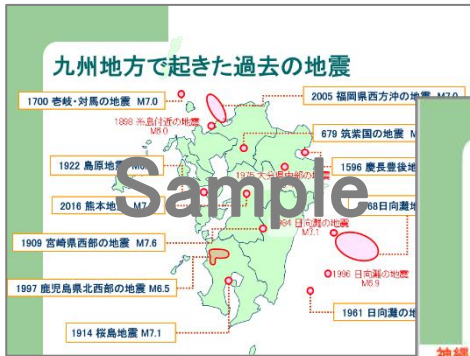
※上記サービスの内容は予告なしに変更にされる場合があります。

■ 講習内容 (例)

講習内容は、お客様に合わせてカスタマイズします。以下は一例です。



■ 地震の基本的知識・地域特性



市 被害想定

被害	死者	負傷者
破壊	約 2,000	約 8,800
移動販売機 の 外落下物	約 1,000	約 4,900
波	約 4,400	約 600
災	約 300	約 400
移動販売機 の 外落下物	—	約 60
計	約 6,800	約 14,760

(単位:人)

■ 帰宅困難者対策

徒歩で帰宅できる距離は？
帰宅困難者のための知識

● 10km以上の方は要注意!!
徒歩帰宅距離が10kmを越えると、**1km毎に1割の脱落者**が発生

自宅まで10km以上の方は、事業所に留まる準備

■ 自衛消防組織への意識付け

自衛消防組織 (隊)

災害発生時には
「自分のところは自分で守る」が原則!!

自衛消防組織(自衛消防隊)は、消防法に基づき設置されるものです。一定規模を有する事業所において設置が義務付けられています。

自衛消防の必要性

大規模な災害が発生した場合は、消防隊など公的な支援の到着も、**大幅に遅れる**ことが予想されます。そのため、大災害発生時には、社内で組織的な活動を行い、人的・物的な被害を最小限に止める必要があります。

自衛消防組織が守る

■ 地震が起きた際の行動

【問題】
大きな揺れが発生したら、まず何を？

① 火を消す ② 身を

エレベーターへの閉じ込め
【助けが来るまで、長時間かかることもありま

○ **エレベーターの中で揺れを感じたら**
揺れを感じたら、全ての階のボタンを押し、停止。エレベーターが降り降り降るのを待つ。

○ **万が一閉じ込められたら**
エレベーター内のインターホンや非常電話で外部に落ち着いて救助を待ちましょう。

外部との連絡が取れなくても、落ち着いてかご内で待機してください。

火災が起きてしまったら **火事だ!**

① **火災を見つけたら**
火災の発生を大戸および火災報知設備で周囲に知らせる。**「火事だー!」**
(「火事だー!」の意識：通報しろ、知らせ、逃げろ、助けしろ)

② **落ちついて初期消火・119番通報**
火が床などに広がっているなどの場合は、消火器等により初期消火に努めます。天井まで炎が達するなどで、消火が困難と判断したら無理に消火はしよせずに避難しましょう。(身の安全確保優先)
・可能な限り早く、119番通報。

③ **従業員・お客様の避難・誘導**
避難を優先します。逃げ遅れ、負傷者の確認を行います。